



ひろげよう緑の文化
第36回全国植樹祭

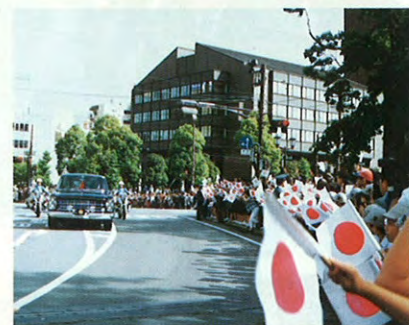
陛下十九年ぶりの ご来熊。



▲熊本空港から特別機で帰京される陛下
<5月13日午後2時>



▲伝統工芸館<5月10日午後3時50分頃>



▲熊本市役所前<5月10日午後3時40分頃>



▲阿蘇いごいの村<5月12日午前11時20分頃>



▲阿蘇火山博物館<5月11日午後3時頃>



▲本田技研熊本製作所
<5月13日午前11時30分頃>



▲歓迎の人々(大津町)<5月13日午前11時頃>

全国植樹祭ご出席のため、五月十日ご来熊された天皇陛下は、十三日までの四日間、県内各地をご視察になられました。先ず初日は、県伝統工芸館をお訪ねになり、熊本

と風土に培われた伝統的手工芸の数々を興味深くご覧になり、二日目は、阿蘇への途中、南外輪山の俵山で、予定を変更して車を降りられ阿蘇の大パノラマをご覧になるなど、阿蘇の自然に触れられ、大変ご満足の様子でした。また、「噴火状況はどうなっているのか。農作物の被害はないか。」とお聞きになるなど、火山活動を気にしておられるようでした。三日目には、全国植樹祭にご出席のあと、野草園をお訪ねになり、尚綱高マンドリンクラブの「はなしのぶコンサート」をお聞きになったり、野草をご観察になるなど、公式行事を終えたあとのくつろいだひとときをお楽しみになりました。ご日程を全て終えられた最終日、「昭和になって、熊本県には六回目の訪問だが、大変な変革で、これも知事以下、県市町村の関係者や県民の努力によるものであって頼もしく思っている。今後も県民一同が協力して、その発展とさらに自然の保護のために一層努力してくれるようお願いしたい……」とのご感想を述べられ、午後二時、熊本空港から特別機でご帰京されました。熊本へは十九年ぶりのご訪問でしたが、各ご訪問先で県民のあたたかい歓迎をお受けになり、ご満悦いただいたご様子でした。



▲野草園(高森町)<5月12日午後3時20分頃>



▲尚綱高校マンドリンクラブはなしのぶコンサート(野草園)
<5月12日午後3時50分頃>



▲久木野村役場前
<5月11日午前11時25分頃>



▲お列を待つ園児たち(高森町役場前)<5月12日午後4時50分頃>

